

**国際交流基金（The Japan Foundation）
令和 7（2025）年度 公募プログラムについて**

この度、国際交流基金（The Japan Foundation）の令和 7（2025）年度公募プログラムガイドラインが公表されました。

公募プログラムとは、「文化芸術交流」、「海外における日本語教育」、「海外における日本研究及び国際対話・ネットワーク形成」の三分野について、国際交流事業を実施する個人や団体に対して公募により助成金、研究奨学金（フェローシップ）または研修の機会等を提供する制度です。

申請をご検討の方は、国際交流基金ウェブサイト（下記 4）から該当プログラムの申請要領をご覧になり、申請資格があることをご確認ください。

記

1. 台湾からの申請が可能なプログラム

プログラム名称	プログラム概要	申請書 提出期限	備考
I 文化芸術交流			
1. 海外展助成	日本の美術や文化を紹介することを目的として、諸外国において展覧会を実施する海外の美術館・博物館等に対し、経費の一部を助成します。	2024 年 12 月 3 日 13 時（日本時間）	日本と台湾を含め、3 つ以上の国・地域が関与する事業に限ります。
2. 翻訳出版助成	日本理解の促進を目的として、日本語書籍の外国語翻訳・出版をする海外の出版社に経費の一部を助成します。	2024 年 12 月 3 日 13 時（日本時間）	
II 海外における日本語教育			
1. 海外日本語教育機関支援（助成）	海外の日本語教育機関・団体が実施する日本語普及・日本語教育の発展に必要な活動を対象に、実施経費の一部を助成します。	2024 年 12 月 3 日 13 時（日本時間）	

2. 【訪日研修】海外日本語教師基礎研修	日本語教授経験の短い若手日本語教師が、日本語運用力を向上させ、日本語教授法を学び、また日本理解を深めるための約6か月の研修です。	2024 年 12 月 3 日 13 時(日本時間)	N4 程度以上
3. 【訪日研修】海外日本語教師日本語研修	日本語教師に必要な日本語運用力の向上を目的とした約7週間の研修です。日本語教授法の授業は行いません。		N5～N4 程度
4. 【訪日研修】海外日本語教師教授法総合研修(夏期・秋期・冬期)	日本語教授能力の向上を目的とした約4～6週間の研修です。令和7年度は、夏期・秋期・冬期の3回実施します。日本語運用力向上を目指す「日本語」の授業は行いません。		N3 程度以上
5. 専門日本語研修(文化・学術専門家)	専門業務及び研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要とする専門家の日本語学習を支援するため、国際交流基金関西国際センターで、実用的な日本語を学び、それを専門活動の中で実際に使いながら、日本語能力を身につける研修を実施します。(令和7年度は6カ月コースのみ)		N4 程度以上
Ⅲ 海外における日本研究及び国際対話・ネットワーク形成			
1. 日本研究フェロースhip	海外における日本研究を振興するため、日本について調査研究する学者・研究者等を日本に招へいし、日本で調査研究等の活動を行う機会を提供します。	2024 年 12 月 3 日 13 時(日本時間)	台湾の方は「学者・研究者(長期)」及び「博士論文執筆者」に申請可能です。
2. 日本研究プロジェクト助成	海外における日本研究を振興するため、海外の団体が実施する日本研究の様々なプロジェクトに対し、経費の一部を助成します。		

2. 申請要領

以下のサイトをご確認ください。

<https://www.jpfi.go.jp/j/program/instruction.html>

3. 注意事項

- (1) プログラム毎に申請資格や条件が異なります。ご希望のプログラムの申請要領をご覧ください。
- (2) 申請書は、英語もしくは日本語で作成してください。中国語での申請は受け付けていません。
- (3) 本公募プログラムは、全世界からの申請を、国際交流基金が一括審査して採否を決定します。

4. お問い合わせおよび申請窓口

日本台湾交流協会台北事務所 広報文化部 TEL: 02-2713-8000 (代表番号)
文化芸術交流 : 郭 (内線 2410)
日本語教育 : 簡 (内線 2413)
日本研究・知的交流 : 陳 (内線 2412)

以上